

# 運用報告書(全体版)

第1期<決算日2025年10月14日>

## たわらノーロード インド株式Nifty50

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式（インデックス型）	
信託期間	2024年12月11日から無期限です。	
運用方針	Nifty50指数（配当込み、円換算ベース）（以下「ベンチマーク」といいます。）に連動する投資成果を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	たわらノーロード インド株式 Nifty 50	Nifty50インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	Nifty 50 インデックス・マザーファンド	インドの金融商品取引所等に上場する株式（上場予定を含みます。） <sup>(*)</sup> を主要投資対象とします。なお、株価指数先物取引、外国為替先物取引、外国為替予約取引、日本や米国の短期国債、上場投資信託証券に投資を行う場合があります。 (*) DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等（以下「DR等」といいます。）を含みます。
運用方法	主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、インドの金融商品取引所等に上場する株式（上場予定、DR等を含みます。）に投資を行い、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式（DR等を含みます。）への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として10月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

# たわらノーロード インド株式Nifty50

## ■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			Nifty50指數		株式組入比 率	株式先物比 率	通貨先物比 率	投資信託受 益証券組入比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税込み分配金	期 中 騰落率	(配当込み、 円換算ベース) (ベンチマーク)	期 中 騰落率					
(設 定 日) 2024年12月11日	円 10,000	円 —	% —	ポイント (12月10日) 58,507.64	% —	% —	% —	% —	% —	百万円 150
1期 (2025年10月14日)	9,717	0	△2.8	57,198.47	△2.2	—	100.0	99.8	—	1,050

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「通貨先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) 通貨先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注5) ベンチマークはNifty50指數（配当込み、円換算ベース）であり、算出にあたってはインド・ルピーベース指數をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注6) 当ファンドは、NSE INDICES LTDによって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではありません。NSE INDICES LTDは、当ファンドの受益者または一般的のいかなる人に対しても、有価証券投資全般または当ファンドへの投資の是非、あるいはNifty50指數のインド株式市場全体のパフォーマンスへの運動性について、明示的か黙示的かを問わず、いかなる表明もしくは保証も行いません。NSE INDICES LTDとアセットマネジメントOne株式会社との関係は、アセットマネジメントOne株式会社や当ファンドと関係なくNSE INDICES LTDが決定、構成、算出する指数およびその指数に関する商標および商号の使用許諾に関するものに限られます。NSE INDICES LTDは、Nifty50指數を決定、構成、算出するにあたり、アセットマネジメントOne株式会社や当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。NSE INDICES LTDは、当ファンドの設定におけるタイミング、価格、数量の決定、または当ファンドを換金する際の算式の決定や計算に関与しておらず、それらの責任を負いません。NSE INDICES LTDは、当ファンドの管理、販売、または取引に関して義務や責任を負いません。

NSE INDICES LTDは、Nifty50指數やその中に含まれるデータの正確性および完全性を保証するものではなく、その誤り、欠落、障害に対していかなる責任も負いません。NSE INDICES LTDは、アセットマネジメントOne株式会社、当ファンドの受益者、またはその他の個人や団体がNifty50指數やその中に含まれるデータを使用することによって得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、いかなる保証も行いません。NSE INDICES LTDは、明示的か黙示的かを問わず、いかなる保証も行わず、指數やその中に含まれるデータに関して、商品性、特定の目的や使用に対する適合性のすべての保証を明示的に否認します。上記に限らず、NSE INDICES LTDは、いかなる直接的、特別的、懲罰的、間接的、または結果的損害（逸失利益を含む）も含めて、当ファンドに関連するあらゆる損害や損失について、たとえそのような損害の可能性について通知されていたとしても、何ら責任を負いません。

投資家は、当ファンドを購入することにより、上記の免責事項を承認、理解、承諾したものとみなされ、これに拘束されるものとします（以下同じ）。

(注7) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

## ■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額	Nifty 50 指数		株式組入率	株式先物比	通貨先物比	投資信託受益証券組入比率
		騰 落 率	(配 当 込 み、円換算ベース) (ベンチマーク)				
(設定日) 2024 年 12 月 11 日	円 10,000	% —	ポイント (12月10日) 58,507.64	% —	% —	% —	% —
12 月 末	9,939	△0.6	58,806.25	0.5	—	100.9	99.9
2025 年 1 月 末	9,377	△6.2	55,293.77	△5.5	—	98.5	95.8
2 月 末	8,713	△12.9	51,572.43	△11.9	—	100.2	99.5
3 月 末	9,241	△7.6	55,055.04	△5.9	—	100.6	99.9
4 月 末	9,141	△8.6	54,384.38	△7.0	—	101.1	101.0
5 月 末	9,384	△6.2	56,211.43	△3.9	—	100.4	99.8
6 月 末	9,754	△2.5	57,934.93	△1.0	—	100.2	99.8
7 月 末	9,510	△4.9	56,567.04	△3.3	—	100.1	99.8
8 月 末	9,212	△7.9	54,259.31	△7.3	—	99.9	100.0
9 月 末	9,262	△7.4	54,563.74	△6.7	—	99.9	99.9
(期 末) 2025 年 10 月 14 日	9,717	△2.8	57,198.47	△2.2	—	100.0	99.8

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 謄落率は設定日比です。

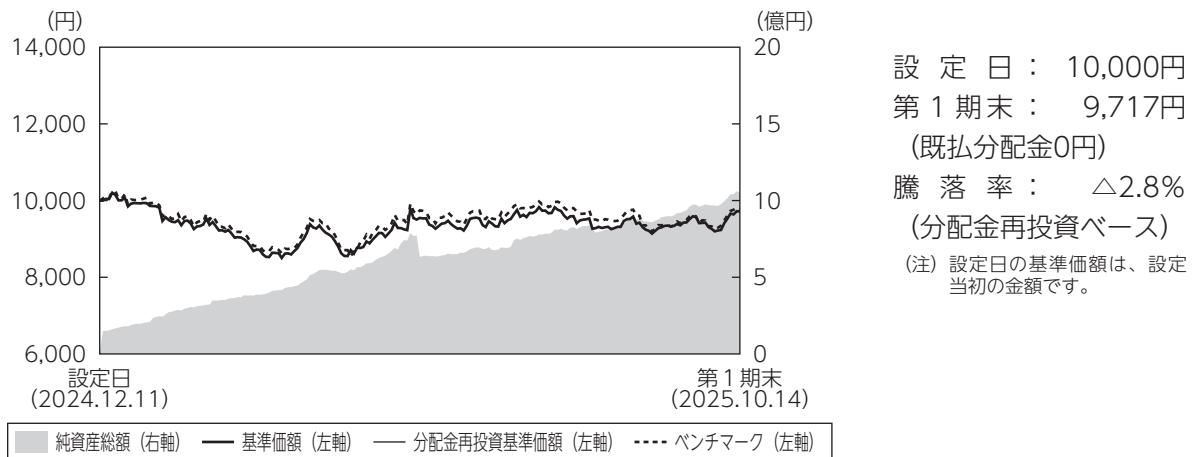
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「通貨先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注5) 通貨先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2024年12月11日から2025年10月14日まで）

### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、設定日前日を10,000として指数化しています。

### 基準価額の主な変動要因

インド大型株市場は上昇しましたが、為替市場でインド・ルピーに対して円高となったことなどがマイナスに影響し、当ファンドの基準価額は下落しました。

## 投資環境

インド大型株式市場は上昇しました。設定後、期前半は国内企業の業績鈍化、中国市場からの資金シフトの一服などを背景に下落しましたが、インド中銀の利下げ観測などから上昇に転じました。その後は米相互関税への懸念から下落した後、米中の大幅関税引き下げが好感され上昇しました。期後半は米国との貿易交渉難航が嫌気され調整しましたが、インド中銀の利下げなどが株価の支えとなりました。

為替市場ではインド・ルピーは日銀による利上げや地政学リスクの高まり、トランプ政権の関税政策に対する不透明感から円高インド・ルピー安となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

Nifty50インデックス・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

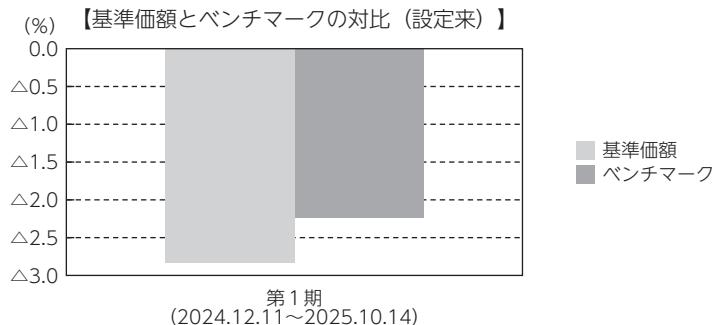
### ●Nifty50インデックス・マザーファンド

ベンチマークであるNifty50指数（配当込み、円換算ベース）への連動をめざし、株価指数先物取引、外国為替先物取引を活用した運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

ベンチマークは設定来で2.2%下落しました。

当ファンドの騰落率はベンチマークを0.6%下回りました。主な差異要因は信託報酬や先物取引コストの影響などが挙げられます。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかつた利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年12月11日 ～2025年10月14日
当期分配金（税引前）	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	334円

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、Nifty50インデックス・マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

### ●Nifty50インデックス・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果をめざした運用を行います。

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切り捨てて算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要	
	(2024年12月11日 ～2025年10月14日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬	22円	0.236%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,347円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(投信会社)	(11)	(0.121)		
(販売会社)	( 9)	(0.097)		
(受託会社)	( 2)	(0.019)		
(b) 売買委託手数料	36	0.380	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料	
(先物・オプション)	(36)	(0.380)		
(c) その他費用	10	0.109	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等	
(保管費用)	(10)	(0.105)		
(監査費用)	( 0)	(0.003)		
(その他)	( 0)	(0.001)		
合計	68	0.726		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

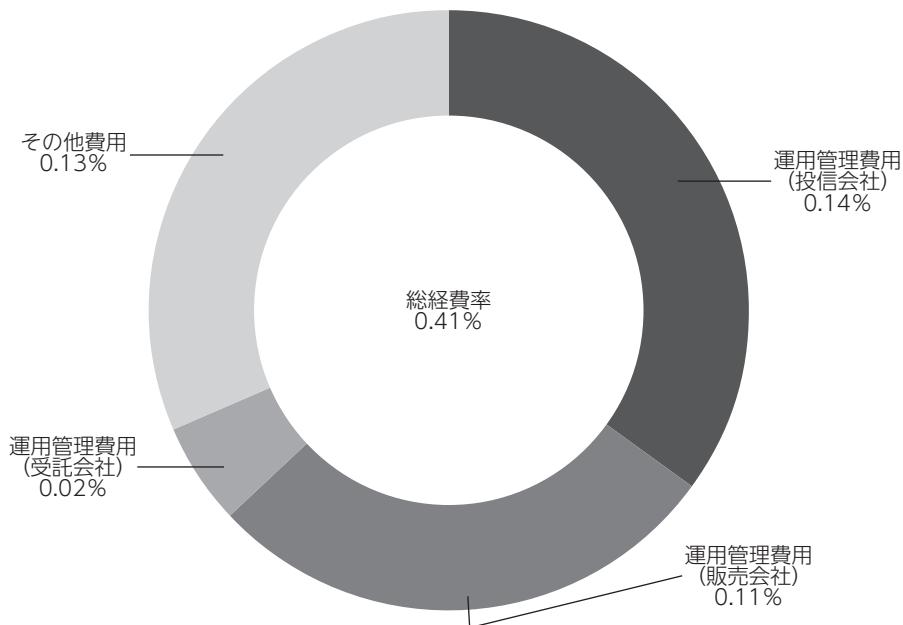
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.41%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年12月11日から2025年10月14日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
Nifty 50 インデックス・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	1,303,981	1,228,470	225,852	214,194

## ■利害関係人との取引状況等（2024年12月11日から2025年10月14日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
百万円 150	百万円 －	百万円 150	百万円 －	当初設定時又は当初運用時における取得とその処分

## ■組入資産の明細

親投資信託残高

	当 期 末		
	□ 数	評 価	額
Nifty 50 インデックス・マザーファンド	千口 1,078,129	千円 1,050,097	

## ■投資信託財産の構成

2025年10月14日現在

項 目	当期末	
	評価額	比率
Nifty50インデックス・マザーファンド	千円 1,050,097	% 98.4
コール・ローン等、その他	16,778	1.6
投資信託財産総額	1,066,876	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2025年10月14日現在、Nifty50インデックス・マザーファンドは1,012,979千円、95.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年10月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=152.49円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年10月14日)現在

項 目	当期末
(A) 資産	1,066,876,542円
コール・ローン等	6,074,868
Nifty50インデックス・マザーファンド(評価額)	1,050,097,674
未収入金	10,704,000
(B) 負債	16,754,399
未払解約金	15,925,158
未払信託報酬	819,023
その他未払費用	10,218
(C) 純資産総額(A-B)	1,050,122,143
元本	1,080,662,072
次期繰越損益金	△30,539,929
(D) 受益権総口数	1,080,662,072□
1万口当たり基準価額(C/D)	9,717円

(注) 設定当初の投資元本額は150,000,000円、当期中における追加設定元本額は1,392,736,525円、同解約元本額は462,074,453円です。

## ■損益の状況

当期 自2024年12月11日 至2025年10月14日

項 目	当期
(A) 配当等収益	25,139円
受取利息	25,139
(B) 有価証券売買損益	34,668,978
売買益	39,735,739
売買損	△5,066,761
(C) 信託報酬等	△1,454,094
(D) 当期損益金(A+B+C)	33,240,023
(E) 追加信託差損益金	△63,779,952
(配当等相当額)	(7,147)
(売買損益相当額)	(△63,787,099)
(F) 合計(D+E)	△30,539,929
次期繰越損益金(F)	△30,539,929
追加信託差損益金	△63,779,952
(配当等相当額)	(2,918,821)
(売買損益相当額)	(△66,698,773)
分配準備積立金	33,240,023

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	16,728,589円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	16,511,434
(c) 収益調整金	2,918,821
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	36,158,844
(f) 1万口当たり当期分配対象額	334.60
(g) 分配金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。

## 《お知らせ》

### 約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「Nifty50インデックス・マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

# Nifty50インデックス・マザーファンド

## 運用報告書

第1期（決算日 2025年10月14日）

（計算期間 2024年12月11日～2025年10月14日）

Nifty50インデックス・マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2024年12月11日から無期限です。
運用方針	Nifty50指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	インドの金融商品取引所等に上場する株式（上場予定を含みます。） <sup>(*)</sup> を主要投資対象とします。なお、株価指数先物取引、外国為替先物取引、外国為替予約取引、日本や米国の短期国債、上場投資信託証券に投資を行う場合があります。 (*) D R（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等（以下「D R等」といいます。）を含みます。
主な組入制限	株式（D R等を含みます。）への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	N i f t y 50 指 数		株式組入比	株式先物比率	通貨先物比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
		期 中 騰落率	(配当込み、円換算ベース) (ベンチマーク)					
(設 定 日) 2024年12月11日	円 10,000	% —	ポイント (12月10日) 58,507.64	% —	% —	% —	% —	百万円 149
1期(2025年10月14日)	9,740	△2.6	57,198.47	△2.2	—	100.0	99.8	— 1,050

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) 通貨先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) ベンチマークはNifty50指数（配当込み、円換算ベース）であり、算出にあたってはインド・ルピーベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注5) 当ファンドは、NSE INDICES LTDIによって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではありません。NSE INDICES LTDは、当ファンドの受益者または一般のいかなる人に対しても、有価証券投資全般または当ファンドへの投資の是非、あるいはNifty50指数のインド株式市場全体のパフォーマンスへの連動性について、明示的か黙示のかを問わず、いかなる表明もしくは保証も行いません。NSE INDICES LTDとアセットマネジメントOne 株式会社との関係は、アセットマネジメントOne 株式会社や当ファンドと関係なくNSE INDICES LTDが決定、構成、算出する指数およびその指數に関する商標および商号の使用許諾に関するものに限られます。NSE INDICES LTDは、Nifty50指數を決定、構成、算出するにあたり、アセットマネジメントOne 株式会社や当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。NSE INDICES LTDは、当ファンドの設定におけるタイミング、価格、数量の決定、または当ファンドを換金する際の算式の決定や計算に関与しておらず、それらの責任を負いません。NSE INDICES LTDは、当ファンドの管理、販売、または取引に関して義務や責任を負いません。

NSE INDICES LTDは、Nifty50指數やその中に含まれるデータの正確性および完全性を保証するものではなく、その誤り、欠落、障害に対していかなる責任も負いません。NSE INDICES LTDは、アセットマネジメントOne 株式会社、当ファンドの受益者、または他の個人や団体がNifty50指數やその中に含まれるデータを使用することによって得られる結果について、明示的か黙示のかを問わず、いかなる保証も行いません。NSE INDICES LTDは、明示的か黙示のかを問わず、いかなる保証も行わず、指數やその中に含まれるデータに関して、商品性、特定の目的や使用に対する適合性のすべての保証を明示的に否認します。上記に関わらず、NSE INDICES LTDは、いかなる直接的、特別的、懲罰的、間接的、または結果的損害（逸失利益を含む）も含めて、当ファンドに関連するあらゆる損害や損失について、たとえそのような損害の可能性について通知されていたとしても、何ら責任を負いません。

投資家は、当ファンドを購入することにより、上記の免責事項を承認、理解、承諾したものとみなされ、これに拘束されるものとします（以下同じ）。

(注6) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

## ■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		N i f t y 50 指 数		株式組入率	株式先物比	通貨先物比	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	(配当込み、円換算ベース) (ベンチマーク)	騰落率				
(設定日) 2024年12月11日	円 10,000	% —	ポイント (12月10日) 58,507.64	% —	% —	% —	% —	% —
12月末	9,940	△0.6	58,806.25	0.5	—	100.9	99.9	—
2025年1月末	9,381	△6.2	55,293.77	△5.5	—	98.5	95.8	—
2月末	8,718	△12.8	51,572.43	△11.9	—	100.2	99.5	—
3月末	9,249	△7.5	55,055.04	△5.9	—	100.6	99.9	—
4月末	9,151	△8.5	54,384.38	△7.0	—	101.1	101.0	—
5月末	9,396	△6.0	56,211.43	△3.9	—	100.5	99.8	—
6月末	9,769	△2.3	57,934.93	△1.0	—	100.2	99.8	—
7月末	9,527	△4.7	56,567.04	△3.3	—	100.1	99.8	—
8月末	9,230	△7.7	54,259.31	△7.3	—	100.0	100.0	—
9月末	9,283	△7.2	54,563.74	△6.7	—	99.9	99.9	—
(期末) 2025年10月14日	9,740	△2.6	57,198.47	△2.2	—	100.0	99.8	—

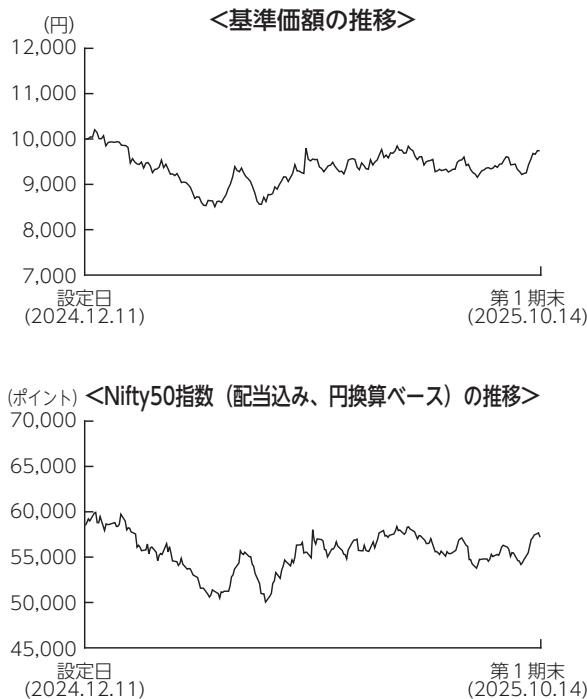
(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 謄落率は設定日比です。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) 通貨先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2024年12月11日から2025年10月14日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は9,740円となり、設定来で2.6%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

インド大型株市場は上昇しましたが、為替市場でインド・ルピーに対して円高となったことなどがマイナスに影響し、当ファンドの基準価額は下落しました。

### 投資環境

インド大型株式市場は上昇しました。設定後、期前半は国内企業の業績鈍化、中国市場からの資金シフトの一服などを背景に下落しましたが、インド中銀の利下げ観測などから上昇に転じました。その後は米相互関税への懸念から下落した後、米中の大幅関税引き下げが好感され上昇しました。期後半は米国との貿易交渉難航が嫌気され調整しましたが、インド中銀の利下げなどが株価の支えとなりました。

為替市場ではインド・ルピーは日銀による利上げや地政学リスクの高まり、トランプ政権の関税政策に対する不透明感から円高インド・ルピー安となりました。

## **ポートフォリオについて**

ベンチマークであるNifty50指数（配当込み、円換算ベース）への連動をめざし、株価指数先物取引、外国為替先物取引を活用した運用を行いました。

## **ベンチマークとの差異について**

ベンチマークは設定値で2.2%下落しました。

当ファンドの騰落率はベンチマークを0.4%下回りました。主な差異要因は先物取引コストの影響などが挙げられます。

## **今後の運用方針**

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果をめざした運用を行います。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	36円 (36)	0.381% (0.381)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	10 (10) (0)	0.106 (0.105) (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	46	0.487	
期中の平均基準価額は9,358円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ 売買及び取引の状況（2024年12月11日から2025年10月14日まで）

### 先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建		
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	
外 国	株式先物取引	百万円 7,146	百万円 6,126	百万円 —	百万円 —
	通貨先物取引	7,212	6,162	—	—

(注) 金額は受渡代金です。

## ■利害関係人との取引状況等（2024年12月11日から2025年10月14日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄	別	当 期				末	
		買	建	額	売	建	額
外 国	I F S C   N I F T Y   5 0   F U T			百万円 1,049			百万円 —
	S G X   I N R / U S D   F U T U R E			1,048			—

(注) 外貨建の評価額は、期末の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■投資信託財産の構成

2025年10月14日現在

項 目	当 期 末		
	評 価 額	比 率	%
コール・ローン等、その他	千円 1,060,763		100.0
投資信託財産総額	1,060,763		100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,012,979千円、95.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年10月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=152.49円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年10月14日)現在

項目	目	当期末
(A) 資	産	1,060,763,810円
コール・ローン等		47,783,955
未収入金		5,923,169
差入委託証拠金		1,007,056,686
(B) 負	債	10,704,000
未払解約金		10,704,000
(C) 純資産総額(A-B)		1,050,059,810
元本		1,078,129,029
次期繰越損益金		△28,069,219
(D) 受益権総口数		1,078,129,029口
1万口当たり基準価額(C/D)		9,740円

- (注1) 設定当初元本額 149,800,000円  
 追加設定元本額 1,154,181,077円  
 一部解約元本額 225,852,048円
- (注2) 期末における元本の内訳  
 たわらノーロード インド株式Nifty50 1,078,129,029円  
 期末元本合計 1,078,129,029円

## ■損益の状況

当期 自2024年12月11日 至2025年10月14日

項目	目	当期
(A) 配当等収益		17,710,714円
受取利息		86,325
その他収益金		17,624,389
(B) 有価証券売買損益		19,332,072
売買益		23,479,733
売買損		△4,147,661
(C) 先物取引等取引損益		△600,505
取引益		70,120,697
取引損		△70,721,202
(D) その他費用		△658,471
(E) 当期損益金(A+B+C+D)		35,783,810
(F) 解約差損益金		11,658,048
(G) 追加信託差損益金		△75,511,077
(H) 合計(E+F+G)		△28,069,219
次期繰越損益金(H)		△28,069,219

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 《お知らせ》

### 約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)